

インクル

NO.6 令和7年2月27日(木)発行



発行 北海道七飯養護学校
七飯町立七飯中学校

令和6年度も残すところ、1か月ほどとなりました。七飯養護学校と七飯中学校の両校の子どもたちも卒業式や修了式を間近に控え、1年のまともに励んでいるところです。

さて、本モデル事業の今年度の取組も大詰めを迎えています。今号では「第3回連携協議会」「第2回初任段階研修」の様子についてお知らせいたしました。

～令和6年度 第3回連携協議会～

今年度最後となる第3回連携協議会は、2月18日(火)13時から七飯中学校で行われました。出席者は以下の皆様でした。(敬称略)

氏 名	所 属 等	備 考
悟 楼 司	七飯町教育委員会教育長	
鈴 木 俊 浩	七飯町教育委員会指導主事	
檜 山 聡	七飯町教育委員会指導主事	
北 嶋 公 博	北海道七飯養護学校長	
福 島 由紀子	北海道七飯養護学校副校長	
佐 藤 耕 一	七飯養護学校カリキュラムマネージャー	
細 川 和 成	七飯町立七飯中学校長	
深 山 裕 一	七飯町立七飯中学校教頭	
佐々木 甲 二	七飯中学校特別支援教育コーディネーター	
平 石 聡	北海道七飯高等学校長	
細 谷 一 博	北海道教育大学函館校教授	
山 内 功	学校教育局特別支援教育課長補佐	リモート参加
高 石 純	学校教育局特別支援教育課主任指導主事	リモート参加
岡 森 博 宣	道立特別支援教育センター知的障がい教育室長	リモート参加

連携協議会は以下の内容で行われました。

1 七飯養護学校北嶋校長挨拶

北嶋校長より、1年間における本モデル事業推進への協力や実りある成果を上げられたことへの感謝、今年度の成果や課題を踏まえた来年度の取組への意気込み等が話されました。

2 令和6年度の取組について(佐藤カリキュラムマネージャーより)

(1) 交流及び共同学習

- ・今年度の交流及び共同学習のねらいや実施教科、時数について
- ・オンライン交流や対面交流での活動の様子について
- ・両校教員による反省から(良かった点や改善点)
- ・七飯中の生徒の感想、対面交流参観者の感想について

(2) 令和6年度成果発表会

- ・令和6年度の取組の成果を広く共有し、理解を深めることができたことについて
- ・参観者から多くの肯定的意見や改善点、今後の示唆などが寄せられたことについて



(3) 第2回合同校内研修

- ・合同校内研修開催の目的、実施日時、実施場所について
- ・令和6年度の取組の説明、交流及び共同学習の動画視聴
- ・令和7年度の取組の方向性等の説明
- ・少人数によるグループ協議、感想交流について

3 令和7年度の取組について（北嶋校長より）

- ・交流及び共同学習をさらに発展させ、他校との連携も視野に入れる。
- ・教員の合同研修や連携を強化し、体制構築を進める。
- ・交流学习では、教科のねらいを達成しつつ、生徒同士の交流を深めることを目指す。
- ・共同学習では、生徒の主体性を引き出し、多様な活動を通して学びを深める。
- ・七飯中学校第1学年のアンケート結果（来年度、七飯養護の生徒と一緒にしてみたいこと）

4 協議

協議では、各委員の皆様から1～3の説明等に対する感想や意見を頂き、主に以下のような内容が話し合われました。



- ・教科の枠を超えた交流の可能性や生徒の主体性を引き出すことが重要である。
- ・交流の質を高めるためには、教員間の連携や情報共有が不可欠である。
- ・交流及び共同学習の在り方については、教科の目標達成と生徒の交流を両立させるための工夫が必要である。また、学習を通して育ててほしい子どもの姿を両校で共有することや場の共有でなく、活動が共有される交流であることも大事になる。

- ・交流及び共同学習の在り方について、教員間で議論を深め、共通理解を図ることが重要である。また、日常的に気軽に行き来できる両校の関係性構築も大事である。
- ・今後の交流及び共同学習の取組に向けて、共同制作の作品展等の地域に見える活動や共に学びのある教科横断的な活動、特別活動や日常的な活動等、具体的な計画を立て実行していくことも重要である。
- ・令和6年度の取組を通して、交流及び共同学習の意義や課題が明確になった。令和7年度は、これらの課題を踏まえ、より発展的な取組にチャレンジすることを目指す。
- ・教員間の連携を強化し、生徒の主体性を引き出すことで、より質の高いインクルーシブ教育を目指す。
- ・令和7年度に向けて、実効性のある合同委員会を組織することやいろいろな取組がスムーズに推進できるようなマニュアルを作成していく予定である。

5 七飯中学校細川校長挨拶

七飯中学校としては、本事業へ無理なく等身大で取り組んできたことや自分たちの取組が近隣の町にも広がっていくことへの期待、この事業で学んだことが両校生徒の卒業後の関係性にも役立つことへの期待等について話されました。



～第2回初任段階研修～

インフルエンザ蔓延のために、昨年12月20日に実施できずにいた第2回初任段階研修が、1月22日（水）に行われました。今回は「対話を通じた学び」の研修で、「経験者から話を聞こう」と題して、七飯養護学校の根市 護先生、渡辺 潤先生の両先輩から「子どもと関わる上で一番大事にしていること、気に掛けていること、どんな観点をもちながら関わっているか」について、経験談を交えながら話していただきました。両先輩との対話を通して、子どもとの関わり方等について、それぞれに考えを深めました。30分ほどの短時間でしたが、熱のこもった有意義な研修会でした。



（文責：佐藤耕一カリキュラム・マネージャー）